

地方都市上水道整備計画【モロッコ】

施策所管局課 国別開発協力第三課
 評価年月日 令和2年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	モロッコ王国
(2) 案件名	地方都市上水道整備計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	<p>モロッコの中北部のケミセット及び中央部のクリブガの周辺の地方都市と村落部において上水道施設を整備することにより、同地域における上水の供給の安定化を図り、もって同地域の住民の生活環境改善及び経済活動の発展に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浄水場の増強 ・ 送水施設の増強 ・ コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日：平成22年3月19日 イ 供与限度額：154.87億円 ウ 金利：1.4%（コンサルティングサービスについては、0.01%） エ 償還（据置）期間：25（7）年 オ 調達条件：一般アンタイド</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、モロッコ政府は「水セクター行動計画（2008－2012年）」を掲げ、地方部の給水サービスの拡大を目指していた。本事業計画の実施にあたっては緊急度と必要性の高いケミセット地域およびクリブガ地域を給水対象とし、給水人口をそれぞれ271千人から390千人、722千人から1,218千人（2地域合計で993千人から1,608千人と）とすることを目標とした。現在においても、モロッコ政府は「国家水計画（2020-2050年）」を策定し、上水道整備は引き続き重要課題であるとされていること、また事業対象地域における給水サービスの普及は十分ではないことから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>事業全体の工事進捗率は80%以上であるものの、一部区間で当初予見し得なかった用地取得問題が発生し、当初計画よりも工事が遅延している。用地取得における住民とのやり取りは地方自治体の責任の下で行われ、事業実施機関が地方自治体に継続的に働きかけ、問題解決に向けて対応中であり、既に一部については解決されている。現在、同問題が解決された区間から順次工事を進めており、工事自体は順調に進捗していることから、2022年8月には完工する見込みとなっている。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれているため、事業進捗を妨げている用地取得問題が一部未解決ではあるが、実施機関を通じて、地方自治体や地域住民との協議を慎重にフォローしつつ、本事業を継続する。</p>
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html)

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">• 国際協力機構の案件検索
(https://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php)• 国際協力機構の事業事前評価表
(https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html)• そのほか国際協力機構から提出された資料 |
|--|--|